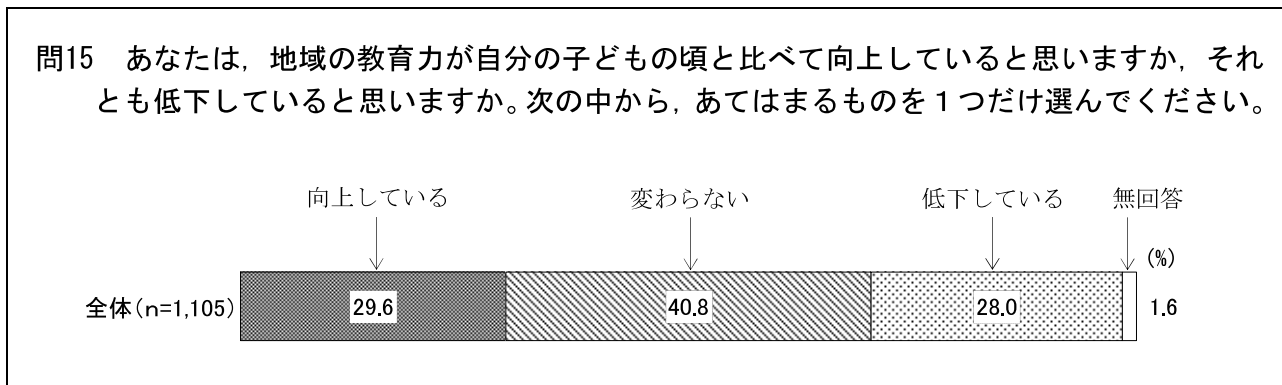


VI 地域の教育力

1. 地域の教育力

(1) 地域の教育力の低下の有無

－「変わらない」が約4割－



地域の教育力の低下の有無は、「変わらない」(40.8%)が約4割と最も高くなっている。一方、「向上している」(29.6%)、「低下している」(28.0%)はそれぞれ約3割となっている。

－**県西と鹿行で「向上している」が3割台半ば**－

地域別でみると、「向上している」は、県西(34.8%)と鹿行(34.0%)で3割台半ばと高くなっている。

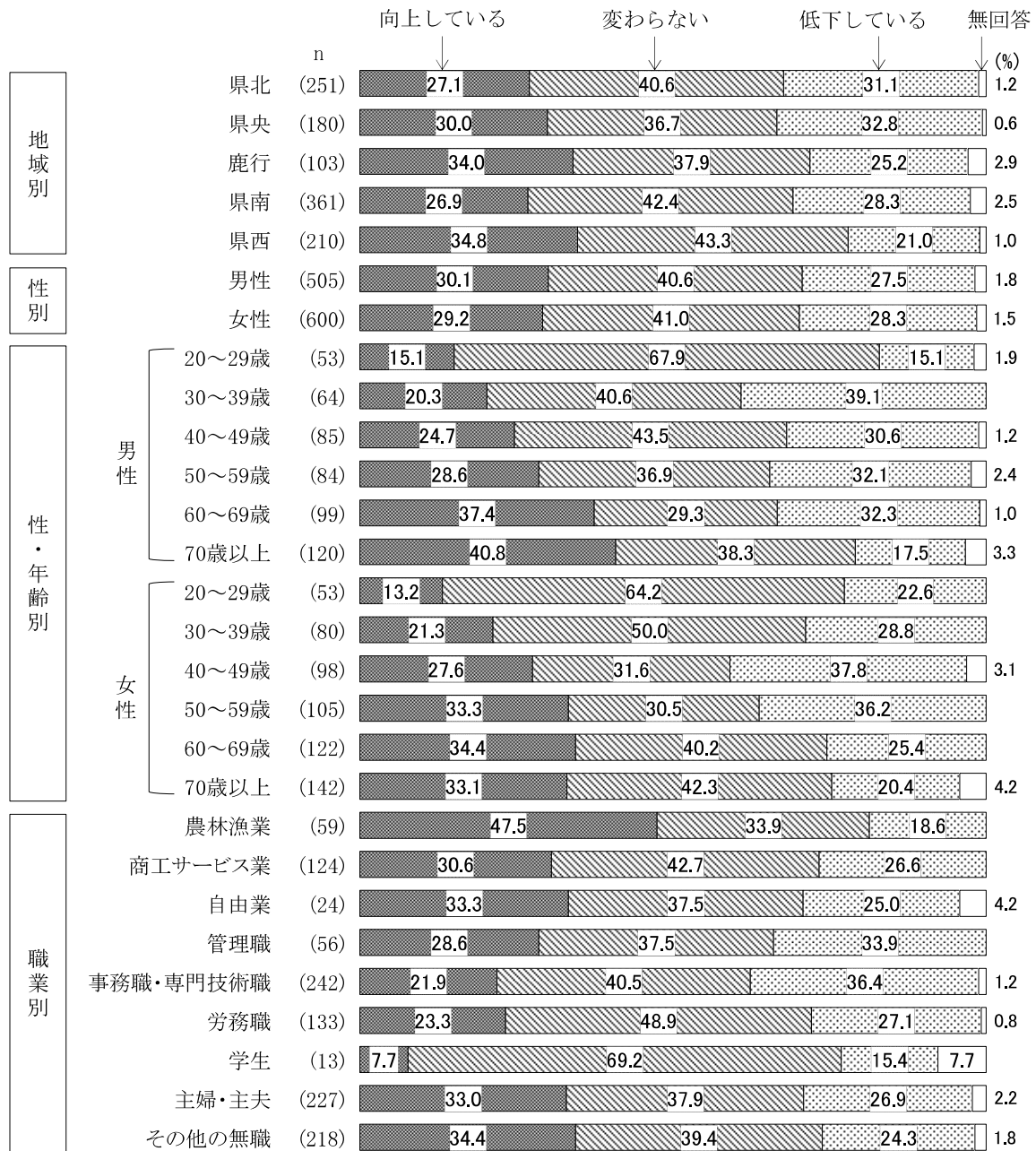
－**男女ともに20代で「変わらない」が6割台**－

性・年齢別でみると、「変わらない」は、男性の20代(67.9%)と女性の20代(64.2%)で6割台と高くなっている。

－**男性の30代と女性の40代で「低下している」が約4割**－

性・年齢別でみると、「低下している」は、男性の30代(39.1%)と女性の40代(37.8%)で約4割と高くなっている。

図VI 15-1 地域の教育力の低下の有無
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別)



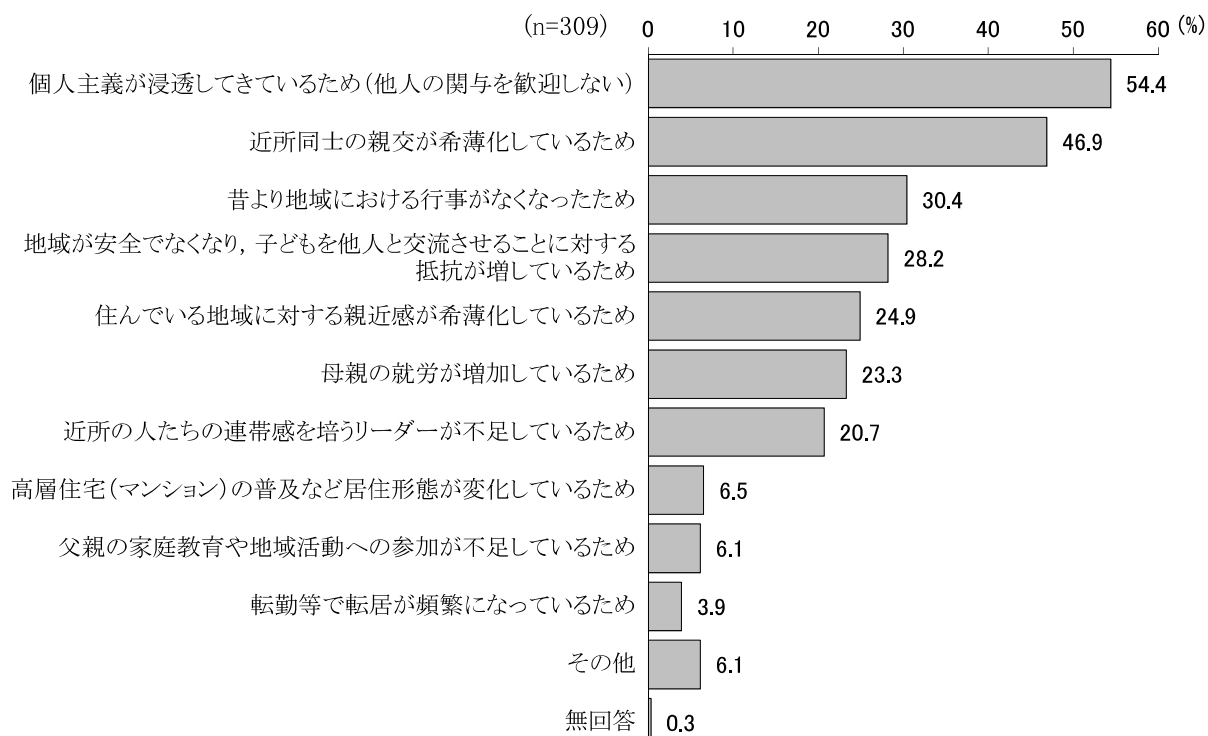
(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。

(2) 地域の教育力が低下した理由

－「個人主義が浸透してきているため（他人の関与を歓迎しない）」が5割台半ば－

(問15で「3 低下している」と回答した方のみ)

問15-1 地域の教育力が、自分の子どもの頃と比べて低下している主な要因は、次の中のどれだと思いますか。近いと思われるものを3つまで選んでください。



地域の教育力が「低下している」と回答した方に、低下した理由を聞いたところ、「個人主義が浸透してきているため（他人の関与を歓迎しない）」（54.4%）が5割台半ばと最も高く、次いで、「近所同士の親交が希薄化しているため」（46.9%）が4割台、「昔より地域における行事がなくなったため」（30.4%）が3割台で続いている。

－県西で「近所同士の親交が希薄化しているため」が約6割、「昔より地域における行事がなくなったため」が約5割－

地域別でみると、「近所同士の親交が希薄化しているため」は、県西（59.1%）で約6割と最も高くなっている。また、「昔より地域における行事がなくなったため」も、県西（47.7%）で約5割と最も高くなっている。

－女性で「地域が安全でなくなり、子どもを他人と交流させることに対する抵抗が増しているため」が男性よりも約15ポイント、「母親の就労が増加しているため」が男性よりも約14ポイント高い－
性別でみると、「地域が安全でなくなり、子どもを他人と交流させることに対する抵抗が増しているため」は、女性（34.7%）が男性（20.1%）よりも約15ポイント、「母親の就労が増加しているため」は、女性（29.4%）が男性（15.8%）よりも約14ポイント高くなっている。一方、「近所の人たちの連帯感を培うリーダーが不足しているため」は、男性（27.3%）が女性（15.3%）よりも12ポイント高くなっている。

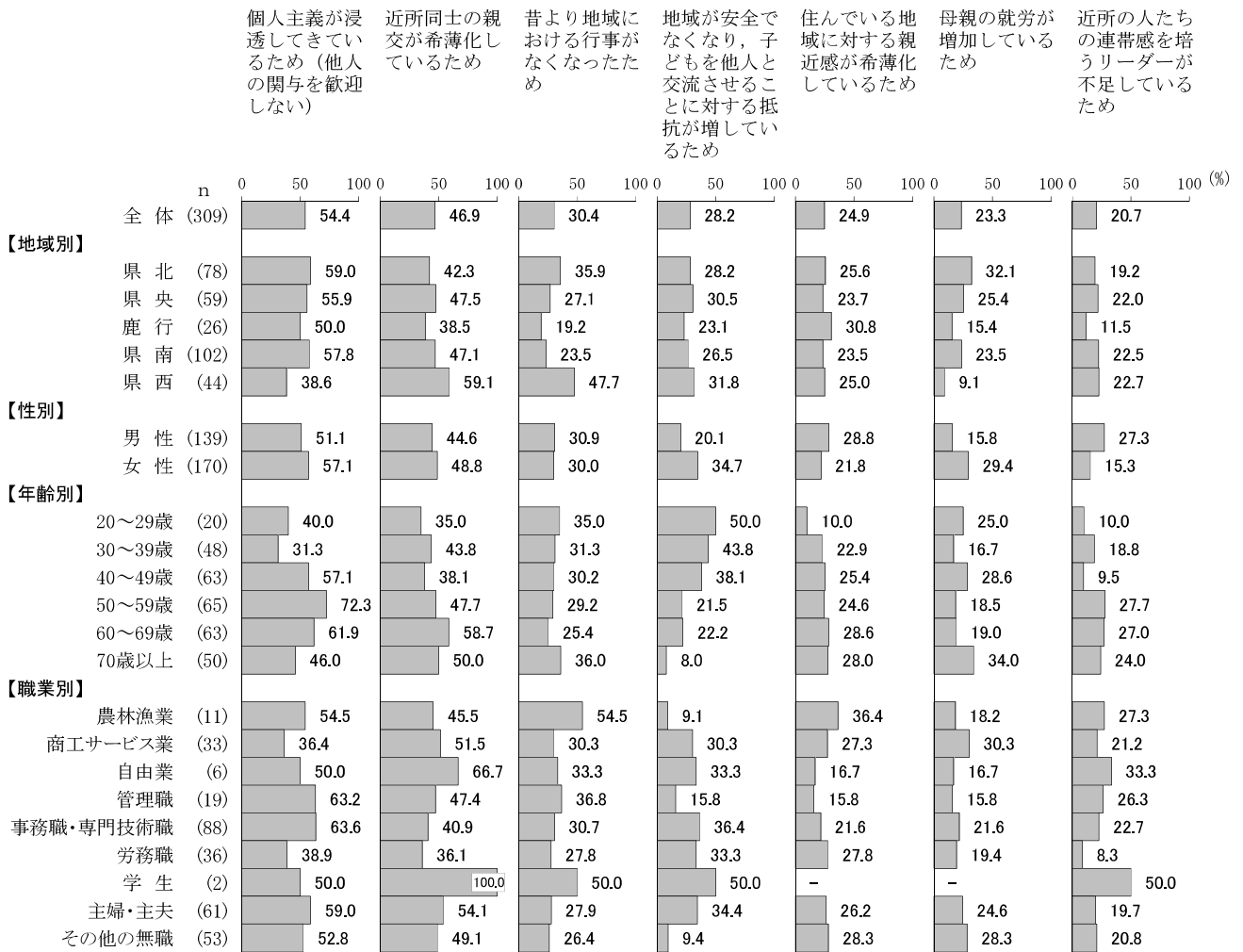
—50代で「個人主義が浸透してきているため（他人の関与を歓迎しない）」が7割超—

年齢別でみると、「個人主義が浸透してきているため（他人の関与を歓迎しない）」は、50代（72.3%）で7割を超えて最も高くなっている。

—60代で「近所同士の親交が希薄化しているため」が約6割—

年齢別でみると、「近所同士の親交が希薄化しているため」は、60代（58.7%）で約6割と最も高くなっている。

図VI 15-1-1 地域の教育力が低下した理由
（地域別，性別，年齢別，職業別）



（注）回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。